25年・ベア配分交渉を行う!

2025年3月25日に2025年ベースアップ配分交渉が行われ、国労は**「等級間格差の是正」「専任社員等の配分について」「今後の賃金基準について」**などを中心にベースアップ配分交渉を行いました。

国労の主な主張

ベースアップの配分方式

2025年4月１日以降の新賃金について、社員は全等級の**基本給に4,000円**を一律加算し、**残りの4,000円を等級比率**による加算とすることを求める。（専任社員等は別途）その考えに至った趣旨は、これまで実施されてきた比例方式での配分では、8,000円全てを等級比率とすると上位等級と若手社員の差が約２倍となり、等級間格差の広がりがより拡大する。一律支給と等級比率それぞれの懸念材料を鑑みて国労は全社員一律に4,000円を基本給へ組み込み、一定程度の基本給の底上げを行い、残りの4,000円を等級比率として組み込み賃金カーブを一定程度保つことを求める。さらに、専任社員、契約社員、臨時社員についても、社員同様に基本給及び基本賃金に同等の配分をすることを求めたい。そして、各初任等級の初任給額にも一律に加算することを求める。

格差の拡大

国労試算では、今回のベア8,000円全てをこれまで通り比例配分すると、

Ｊ1等級6,200円、Ｌ3等級12,500円と倍近くの格差が出てしまう。

これまでの配分でもその傾向であった。しかし、今までのベアは1,000円前後であり、今回のベア8,000円とでは同じ「倍の格差」と言ってもベースアップ額が大きければ格差も大きくなる。格差是正をはかるべきである。

☆今春闘は、過去最大のベースアップを実施した。しかし、従来の比例配分の場合、ベア額が大きければ大きい程、下位等級と上位等級との格差も増大することから一律支給と比例配分のバランスが重要であると考えている。
国労が一貫して主張する「鉄道業としてのふさわしい賃金制度」としていくためにも、全体の底上げと賃金カーブのバランスを考慮した配分方法を取ることを強く求める。

以上

（詳細は国労東海HPより交渉情報を参照願います）

国労東海かべ新聞
国鉄労働組合東海本部　編集責任者：教宣部長
国労東海本部ホームページ　https://www.kokurotokai.com